



# みなみの空

## 各学年水泳記録会

密を避けて、学年毎に実施しました。水泳は、得意、苦手ははっきりします。記録会では、プールにやってきた一人一人の表情を見れば、その子が水泳が得意なのか苦手なのかはっきり分かります。水の中は、孤独です。自分しか頼る者がいない状況で頑張る力が試されます。子ども達は、人と比べるのではなく、自分自身を高めることをめあてに頑張りました。



## 2学期の学びがスタートしました

夏休みが終わって、学校は勉強モードです。まだ本調子になっていない子もいるようですが、最長の2学期スタートに当たって、勉強について考えます。

ご家庭でお子さんが勉強している姿を見て、どのように感じておられますか？

- ① 学校での勉強がよく分かっているようで、安心して見ていられる。
- ② 分からないところがあって、やきもきして見ている。
- ③ やる気がなさや、いい加減さにイライラして見ている。



①のお子さんは、心配ありません。褒めてあげましょう。②のお子さんは、まじめに取り組んでいますから、教えてあげてください。それでも苦戦する場合は、担任と相談してください。③のお子さんはどうでしょう。勉強から逃げているように見えます。お子さんによっては、苦手な教科には取り組みたがらないという場合もあります。

③の子は、怠け者なののでしょうか？私は違うと思っています。入学前に戻って考えてみてください。年長組の子は「おれ、足し算できるよ。」とか「100まで数えられるもん」などと、かわいい自慢をします。どの子も自分は勉強ができるようになって信じています。ところが、入学してみると現実に直面します。他の子にできることが自分にはできない…。子どもは、競争に勝つことが大きいです。できない自分を感じる度に、勉強から心が離れて行きます。「将来のため」「できないんだから努力する」という発想は大人のものです。

南小では、勉強が遅れがちの子に分かるころまで戻って学び直すことを勧めています。通級指導教室に通っているお子さんは、分かるころまで戻って授業をすると「分かった。」「また通級で勉強したい。」と言います。そうです、分かるころまで戻って、できる自分を確かめながら進めば勉強が好きになるのです。子どもは、怠けているのではなく、できない自分を突きつけられるのに耐えられないプライドを持っているんです。人と比較するのではなく、自分自身を高めることをめあてにした子は、どんどん伸びていきます。

これって、生き方そのものですね。学校での勉強は数的な学力だけを追いかけるものではありません。学びを通して、生き方を学んでいるのです。



## ☆ ☆ 学力調査の結果 ☆ ☆

### 全国学力・学習状況調査

(6年生) 国語 全国平均を大きく上回る 算数 全国平均をやや上回る

### ふくしま学力調査

(4年生) 国語 県平均を下回る 算数 県平均を下回る

(5年生) 国語 県平均と同程度 算数 県平均をやや上回る

(6年生) 国語 県平均を上回る 算数 県平均を上回る



先日、全国学力・学習状況調査の結果が報道されました。南小の結果は上の通りです。5・6年生は、平均と同じか上回りました。4年生は下回って心配ですが、実は6年生も4年生の時は同じくらいの成績でした。高学年になると学力が伸びるのが南小の特徴ですので、4年生はここから頑張ります。